（再評価）

資料３－４－②
平成２８年度第４回
関東地方整備局
事業評価監視委員会

一般国道20号
下諏訪・岡谷バイパス

平成２８年９月２日
国土交通省　関東地方整備局

平成２５年度再評価時点

再評価結果（平成２６年度事業継続箇所）

担　当　課：道路局　国道・防災課
担当課長名：茅野　牧夫

事業名	一般国道２０号　下諏訪岡谷バイパス（しもすわおかや）	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 関東地方整備局
起終点	自：長野県諏訪郡下諏訪町東町（ながのけんすわぐんしもすわまちひがしまち） 至：長野県岡谷市今井（ながのけんおかやしいまい）			延長	５．４ｋｍ

事業概要

一般国道２０号は、東京都中央区から山梨県甲府市等を通過し、長野県塩尻市に至る延長約２２５ｋｍの幹線道路である。一般国道２０号下諏訪岡谷バイパスは、現道である国道２０号の交通混雑の緩和と交通安全の確保を目的として計画された事業である。

Ｈ４年度事業化	Ｈ２年度都市計画決定（Ｈ－年度変更）	Ｈ６年度用地着手	Ｈ１０年度工事着手

全体事業費	約４６４億円	事業進捗率	５８％	供用済延長	１．９ｋｍ（暫定）
計画交通量	６，３００～１８，９００台／日				

費用対効果分析結果	B／C	総費用 (残事業)/(事業全体)	総便益 (残事業)/(事業全体)	基準年
	(事業全体) １．３ (残事業) ２．８	１４９／５１２億円 事　業　費：138/498億円 維持管理費：11/ 14億円	４２１／６６７億円 走行時間短縮便益：328/511億円 走行費用減少便益：72/130億円 交通事故減少便益：21/ 27億円	平成２５年

感度分析の結果

【事業全体】交通量　：B/C＝1.2～1.4（交通量　±10%）【残事業】交通量　：B/C＝ 2.7～ 2.9（交通量　±10%）
事業費　：B/C＝1.2～1.4（事業費　±10%）　事業費　：B/C＝ 2.6～ 3.1（事業費　±10%）
事業期間：B/C＝1.1～1.5（事業期間± 3年）　事業期間：B/C＝ 2.5～ 3.2（事業期間± 3年）

事業の効果等

①交通混雑の緩和
- 下諏訪・岡谷バイパスと並行する国道２０号(現道)では、長地交番前交差点周辺（暫定２車線供用区間への接続）や大社通り交差点（国道１４２号と接続）を中心に交通混雑が発生している。
- 国道２０号(現道)の損失時間は約１０５．５千人時間/年･ｋｍであり、全国平均（２６．３千人時間/年･ｋｍ）の約４．０倍となっている。
- 下諏訪・岡谷バイパスの整備により、交通の転換が図られ、国道２０号(現道)の渋滞緩和が見込まれる。

②安全安心な通行の確保
- 下諏訪岡谷バイパスと並行する国道２０号(現道)の死傷事故率は、約７６．５件/億台・ｋｍと全国平均（約１０２．０件/億台･ｋｍ）を下回っているが、事業中区間（Ｉ工区）の並行区間では、約１５９．９件/億台・ｋｍと全国平均の約１．６倍と高い。
- 下諏訪岡谷バイパスの整備により、現道の交通量が転換し、交通事故の減少が期待される

関係する地方公共団体等の意見

・長野県知事の意見：

一般国道２０号下諏訪・岡谷バイパスにつきましては、既に暫定供用されたバイパスにより現道の渋滞緩和や事故件数の減少など顕著な効果が見られているため、バイパスの全線整備により交通混雑の緩和、交通安全の確保に更なる効果があるものと期待しています。さらに、当該地域に隣接する現道は、平成１８年７月豪雨で通行不能となった履歴もあり、災害時における代替機能確保について、地元からも大きな期待が寄せられています。事業継続を図るとともに、積極的な予算確保と早期完成に向けた事業の推進を強く要請します。

事業評価監視委員会の意見

事業の継続を承認する。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

下諏訪岡谷バイパス暫定２車線（２．９ｋｍ）、国道１４２号バイパス及び県道下諏訪辰野線の３路線を同時に平成１６年３月２７日に供用。長地山の手土地区画整理事業が平成１４年度事業完了。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成１６年３月に暫定２車線（２．９ｋｍ）が開通済み。国道１４２号から国道１４２号バイパス間（１．７ｋｍ）の道路設計を行うとともに、今井地区で改良工事及び橋梁工事を実施。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

用地取得は約８４%完了。引き続き、用地の取得、工事の促進を図り、早期の供用を目指す。

施設の構造や工法の変更等

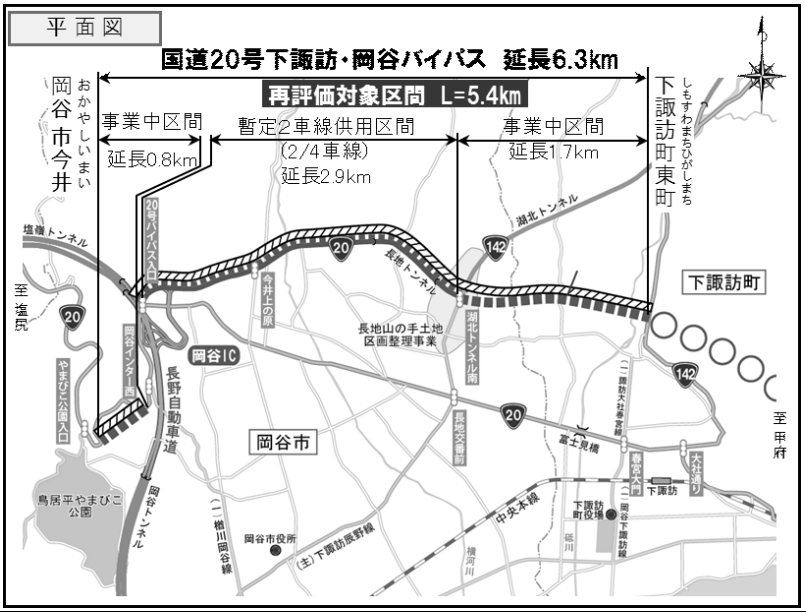
－

対応方針	事業継続

対応方針決定の理由

以上の事業の効果及び進捗状況、関係する地方公共団体等の意見、事業評価監視委員会による審議を踏まえると、事業の必要性、重要性は高いと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

28道建第108号
平成28年(2016年)8月22日

国土交通省
　関東地方整備局長　様

長野県知事

関東地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）
の作成に係る意見照会について（回答）

平成28年8月3日付け国関整企画第83号で意見照会ありました標記について、別添回答様式のとおり回答します。

関東地方整備局
企画第 35 号
'28.8.24

（再評価）　　（回答様式）

【道路事業】

事業名	「対応方針（原案）」案※	長野県知事の意見
[redacted]		
一般国道20号　下諏訪岡谷バイパス	継続	一般国道20号「下諏訪岡谷バイパス」は、交通混雑の緩和や交通事故の減少等に寄与する必要不可欠な事業です。 ついては、事業を継続し、積極的な予算確保により、早期開通を図るよう強く要望します。 また、事業の実施にあたっては、一層のコスト縮減に努められるようお願いします。

※貴職の意見を踏まえ、関東地方整備局事業評価監視委員会へ諮る対応方針（原案）を作成するためのものです。